

6 市民スポーツ・ レクリエーションの振興

1 市民スポーツ活動の振興

〈目標〉

誰もが生涯にわたって、それぞれの体力、年齢及び目的に応じて、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身の健康維持・増進が図れるよう、スポーツ環境の整備・充実を図る。

〈取り組みの方向〉

全ての市民がスポーツを通して、心身の健康維持・増進が図れるよう、スポーツ環境の充実を図る。

〈平成19年度の主な取り組み〉

(1)市民スポーツの企画

- ・市民体育大会などの各種事業について、実施方法を検討しつつ、スポーツ関係団体の協力やスポーツ企業の協賛を得て、内容の充実に努めていく。
- ・総合型地域スポーツクラブ[®]の設立に向け取り組む。

(2)市民スポーツ団体の育成・支援

- ・市民と協働するなかで、スポーツ振興の活性化を図るために、各種スポーツ団体や自主サークルを育成・支援しながら自主運営を促進する。

(3)スポーツ情報の提供

- ・オーパススポーツ情報システム[®]やホームページ、パンフレットなどの活用や競技団体との連携を進めるとともに、地域公共ネットワークの内容を充実し、的確なスポーツ情報の提供に努める。

(4)生涯スポーツの振興

- ・生涯スポーツの社会の実現をめざし、市民の健康増進を図る健康スポーツの開発に取り組む。

〈平成 19 年度の取組実績〉

(1)市民スポーツの企画

本市競技スポーツの振興を図るために市民体育大会や代表選手派遣事業をスポーツ振興連盟に委託し、円滑な事業推進を図った。

また生涯スポーツの振興を図るため、スポーツインストラクターを活用し、市民協働によるスポーツ教室の展開をめざすとともに、地域に密着した総合型地域スポーツクラブ「池の里クラブ」の設立を行い、生涯スポーツの拠点づくりを行った。

(2)市民スポーツ団体の育成・支援

平成 19 年 1 月に寝屋川市スポーツ振興連盟が NPO 法人格を取得することで、より一層の組織強化と傘下団体（24 団体）の自主運営が推進できるよう支援に努めた。

(3)スポーツ情報の提供

オーパススポーツ情報システム・野外活動システム[®]等のシステムによる 24 時間リアルタイムな情報提供、ホームページの電子情報をはじめ文字によるスポーツガイド情報を発信することにより、より充実した情報の提供に努めた。

【登録件数】

	H19 年度	H18 年度	H17 年度
新規登録	326 件	194 件	152 件
総 累 計	2,634 件	2,613 件	2,487 件

(4)生涯スポーツの振興

いつでも、誰とでも生涯にわたってスポーツ活動に取り組めるよう、「市民ウオーキング」・「寝屋川 元気 夢まつり」など市民協働によるイベントの実施や、スポーツの活性化をめざしスポーツ教室の充実を図った。

6 市民スポーツ・レクリエーションの振興

↳1 市民スポーツ活動の振興

【市民ウォーキング】（毎年度9月・3月の2回実施）

	参加人数 (2回合計)	経路等
H19年度	243人	市～深北緑地～市 8km (180人参加)
		市～鳥飼大橋～枚方大橋 8.5km (63人参加)雨天
H18年度	508人	市～山田池～市 16km (220人参加)
		市～星田～くろんど池 16km (288人参加)
H17年度	473人	讃良川～門真団地～鶴見緑地 16km (245人参加)
		市～鳥飼～万博公園 16km (228人参加)

【元気 夢 まつり】

	開催日	開催場所	参加人数
H19年度	H19年10月21日(日)	打上川治水緑地	34,000人
H18年度	H18年10月22日(日)	打上川治水緑地	33,000人
H17年度	H17年10月16日(日)	当日、大雨洪水警報発令のため中止	

【スポーツ教室】 市民体育館

	H19年度	H18年度	H17年度
ガイド教室(体操:5歳児～小学4年)	2,232人	3,707人	4,384人
育児ママスポーツ教室(就学前の幼児を持つ女性)バドミントン、ソフトバレーなど	273人	269人	221人
インストラクタースポーツ教室	8,811人	8,191人	6,590人
合計	11,316人	12,167人	11,195人

【スポーツ教室】 池の里市民交流センター体育施設

	H19年度	H18年度	H17年度
体操、エアロビクス、ミニバスケット、バドミントン、ラクロス、太極拳など	7,948人	2,561人	—

〈評価〉

- ・市民体育大会や代表選手派遣事業を、専門性を有する団体に委託することにより、円滑な事業推進がなされ、競技スポーツの振興を図ることができた。またスポーツインストラクターの活用で、幼児から高齢者までを対象としたスポーツ教室に多くの市民が参加し、市民協働による生涯スポーツの振興を図ることができた。
- ・総合型地域スポーツクラブ「池の里クラブ」の設立により、市民がスポーツに親しむ場所の拡張を図ることができた。今後も新たな総合型地域スポーツクラブの創設を検討し、スポーツの振興を図っていく。

2 スポーツ・レクリエーション 活動の環境整備

〈目標〉

市民が気軽にスポーツできるよう市内のスポーツ施設の環境整備に努めるとともに、スポーツ指導者の養成を図る。

〈取り組みの方向〉

スポーツ施設の利用の促進と安全な施設管理を行うとともに、適切なスポーツ指導者による安全管理、健康管理の下、スポーツに親しむ環境を整備する。

〈平成19年度の主な取り組み〉

(1) スポーツ施設の利用促進

- ・指定管理者制度による民間活力の活用を図っていく方策を取り入れながら、市民の利用の促進を図る。

(2) スポーツ指導者の養成

- ・スポーツ科学を取り入れ、競技力向上をめざしたスポーツ指導者の養成に努める。
- ・スポーツリーダーズバンクへの登録を促進し、市民のスポーツに親しむ場の拡大に努める。

(3) 学校体育施設・スポーツ施設の開放の促進

- ・小・中学校、高校の学校体育施設を市民に開放し、利用に供していく。
- ・民間スポーツ施設との連携を図りながら、市民の利用を促進する。

〈平成19年度の取組実績〉

(1) スポーツ施設の利用促進

野外活動センターにおいて指定管理者制度を導入し、野外活動の専門スタッフによるきめ細かな管理・指導運営を行い利用者の増加と満足度の向上に努めた。

6 市民スポーツ・レクリエーションの振興
 ↳2 スポーツ・レクリエーション活動の環境整備

市民体育館においては、平成 20 年度 4 月からの指定管理者制度導入に向け準備を進めた。

その他社会体育施設の安全管理と、市民の平等な施設利用促進に努めた。

【野外活動センター利用状況】

		団 体		ファミリー		利用者合計
		日帰り	宿 泊	日帰り	宿 泊	
H19 年度	利用団体数	263 件	262 件	226 件	178 件	21,820 人
	利用者数	12,014 人	7,240 人	1,579 人	987 人	
H18 年度	利用団体数	261 件	196 件	224 件	187 件	19,673 人
	利用者数	10,575 人	5,940 人	1,942 人	1,216 人	
H17 年度	利用団体数	317 件	183 件	199 件	110 件	15,315 人
	利用者数	8,938 人	4,463 人	1,265 人	649 人	

【市民体育館利用状況】

	H19 年度	H18 年度	H17 年度
団 体 使 用	127,914 人	114,669 人	104,194 人
個 人 使 用	38,698 人	35,510 人	35,130 人
計	166,612 人	150,179 人	139,324 人

【淀川河川グランド利用状況】

	大会利用		一般利用		利用者数
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	合 計
H19 年度	1,933 団体	83,550 人	818 団体	21,783 人	105,333 人
H18 年度	1,870 団体	80,050 人	712 団体	18,062 人	98,112 人
H17 年度	1,879 団体	80,850 人	778 団体	18,993 人	99,843 人

(2)スポーツ指導者の養成

寝屋川市スポーツインストラクター養成講習会を実施し、社会体育指導者の資質や指導レベルの向上を図った。

また、講習会修了者にインストラクター認定を行い、インストラクター

で組織するリーダーズバンク^②に登録、各方面からのスポーツ指導に対する派遣事業の推進を図った。

インストラクター養成講習会内容

- ①スポーツ生理学 ②スポーツマネジメント ③トレーニング方法論
 ④事故と安全対策 ⑤発育発達概論 ⑥スポーツ行政とスポーツ指導
 ⑦トレーニング方法（実技） ⑧救急法（実技） の8単位

(3)学校体育（夜間照明）施設・スポーツ施設の開放の促進

①学校体育施設の有効活用を図り、市民が日常的にスポーツ活動ができる場の提供に努めた。

【学校夜間照明利用状況】

	H19年度	H18年度	H17年度
利用団体数	1,375 団体	1,407 団体	1,352 団体
利用者数	50,110 人	53,084 人	41,025 人

②平成20年3月末で廃校となる旧大阪府立南寝屋川高校の跡地の有効利用に向け、関係機関と連携し、大阪府へ働きかけたことにより、暫定的に利用できることとなった（H21年3月末まで）。

〈評価〉

- ・スポーツ施設の環境整備については、市民体育館の利用促進と安全な施設管理に民間の力を活用すべく、指定管理者制度の導入に向け、選定委員会の設置などの手続き作業を行なった。
- ・スポーツインストラクター養成講座を受講した指導者がスポーツ教室を指導することにより受講者が増加した。
- ・スポーツ施設等の老朽化が進む中、市民が安全で安心して利用できるよう、年次的に改修に努めていく。